

お客様各位

2021年2月

株式会社 **別川製作所**

品質保証部

品質保証G

油入遮断器(OCB)用絶縁油のPCBについて

拝啓 時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

弊社にて製作しておりました油入遮断器(OCB)のPCB含有の有無につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

敬 具

記

1. 対象製品

品 名：油入遮断器(OCB)

型 式：BD-6FT、BD-6GT、BD-6BT、BD-6F、BD-6B、
BD-6-A3、BFY-100

2. OCB用絶縁油

弊社にて製造しましたOCBの絶縁油には[PCB(ポリ塩化ビフェニル)入り絶縁油]は使用しておりません。

弊社のOCBは当初より、JIS C 2320 電気絶縁油の2号絶縁油を使用しておりますが、この絶縁油にはPCBを含んでおりません。

またOCB製造工程におきましても、PCBは使用されておりません。

しかしながら、OCB用絶縁油は定期点検時に必要に応じ交換するもので、現時点での絶縁油が、[PCB入り絶縁油]ではないことは判断し難く、また低濃度(微量)PCBの混入の可能性については否定できないため、別途調査が必要と考えます。

<参考>

環境省発行「ポリ塩化ビフェニル(PCB)使用製品及びPCB廃棄物の期限内処理に向けて(2016年10月版)」より抜粋

以 上

<参考>

環境省発行「ポリ塩化ビフェニル(PCB)使用製品及びPCB廃棄物の期限内処理に向けて(2016年10月版)」より抜粋

PCB含有の有無を判別する方法

変圧器・コンデンサー等の場合

高濃度PCBかどうかの判別方法

昭和28年(1953年)から昭和47年(1972年)に国内で製造された変圧器・コンデンサーには絶縁油にPCBが使用されたものがあります。

高濃度のPCBを含有する変圧器・コンデンサー等は、機器に取り付けられた銘板を確認することで判別できます。

詳細は各メーカーにお問い合わせるか、(一社)日本電機工業会のホームページを参照してください。
https://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/pcb/pcb_hanbetsu.html

低濃度PCBかどうかの判別方法

数万件に及ぶ測定例から、国内メーカーが平成2年(1990年)頃までに製造した電気機器には、PCB汚染の可能性があることが知られています。

絶縁油の入替ができないコンデンサーでは、平成3年(1991年)以降に製造されたものはPCB汚染の可能性はないとされています。

一方、変圧器のように絶縁油に係るメンテナンスを行うことができる電気機器では、平成6年(1994年)以降に出荷された機器であって、絶縁油の入替や絶縁油に係るメンテナンスが行われていないことが確認できればPCB汚染の可能性はないとされています。

したがって、まず電気機器に取り付けられた銘板に記載された製造年とメンテナンスの実施履歴等を確認することでPCB汚染の可能性を確認し、さらに上記の製造年よりも前に製造された電気機器については、実際に電気機器から絶縁油を採取してPCB濃度を測定してPCB汚染の有無を判別します。ただし、コンデンサーのように封じ切りの機器では使用中のものを絶縁油の採取のために穿孔すると使用できなくなるのでご注意ください。

銘板確認のため、通電中の変圧器・コンデンサーに近づくと感電の恐れがあり大変危険です。必ず電気保安技術者に依頼して確認してください。

